

(左から) 表紙 包帯 本紙

十・飛び出す絵本を作る

「紙の魔術師」といわれるロバート・サブダは『不思議の国のアリス』・『恐竜時代』・『クリスマス・アルファベット』などつぎつぎすばらしい仕掛け絵本を出版し続けています。彼が飛び出す絵本を作るようになったのは、子どもの時に歯科医院の待合室でポップ・アップ絵本に出会い、その感動がいまも創作活動の原点になっているそうです。飛び出す絵本は仕組みが複雑で、子どもでは作る事ができないと思われるがちです。しかし、複雑そうに見えるものでも、じつは基本的な仕組みをいくつか組み合わせてできています。

奈良教育大学の「ならやまオープンセミナー」の公開講座で飛び出す絵本を作りました。参加者は三歳の子どもから七十一歳の方まで二十八名が参加しました。幼児は保護者と一緒に作りましたが、六歳児は五種類の仕掛けをひとりで作りました。その方法をここで紹介します。

準備するもの

- ・ 白の画用紙に印刷した型紙
- ・ 台紙にする色画用紙
- ・ 色鉛筆あるいはクーピー、ハサミ、糊、糊づけ用の広告紙、伸びない包帯



「顔」の型紙

作る手順

公開講座では時間が限られているので、ハードカバーの表紙は学生たちが前もって作っておき、それを参加者に渡しました。また、個々で作る場合は、仕掛けを先に作って台紙に貼ってから製本します。しかし、この講習会では、はじめに製本をしてから次に仕掛けの部分を作って台紙に貼りつけました（製本については「七・ハードカバーの絵本を作る」を参照してください）。ここでは基本的な飛び出す仕掛けについて述べます。

飛び出す仕掛け

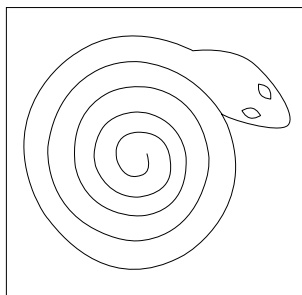
◆ 「顔」（二つ折りにした紙に切り込みを入れて折り曲げる方法）

型紙は丸坊主ですが、自分の好きな髪型にして色を塗り、二つ折りにして頭から耳の手前までとあ、このところに切り目を入れます。鼻、口、襟首のところにも短い切り目をいれます。

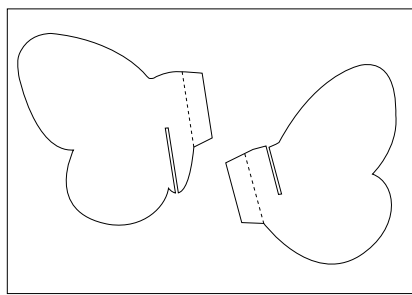
耳のところを通して左右を谷折りにします。これを台紙に貼って顔の部分を引き出します。鼻の下と下唇のところを押してくぼみをつけます。こうすると開き方によって表情が変化しておもしろいです。

◆ 「家」（四角い箱を作り、二面を折り畳む方法）

壁の部分と屋根の部分に色を塗り、まわりをハサミで切りとります。はじめ四



「蛇」の型紙



「蝶」の型紙

面の壁を折り曲げ糊しろのところを接着します。さらに向かい合った五角形を谷折りにします。

屋根を山折りにします。煙突が突きでるように、屋根のしるしのところをカッターで切り、ここに壁についている煙突を通すと屋根が固定できます。最後に台紙に貼りつけます。

◆「蝶」（二枚の紙に切り込みを入れ、組み合わせる方法）

二枚の羽に色を塗ります。切りとってそれぞれの羽にハサミで切り目を入れます。つぎに切り目のところで二枚の羽を差し込みます。足の下の糊しろを折り曲げて台紙に貼りつけます。

◆「蛇」（らせん状に切り込みを入れて二箇所を糊つけする方法）

渦巻きの型紙の裏と表両面に色を塗ります。線にそってハサミで切ります。二つ折りにした台紙の片側にのせて頭の部分の裏側を糊づけします。最後に尻尾のところ糊がはみ出ないように塗り、片側の台紙をのせて接着します。糊が乾いてから開くと蛇の体がすると伸びます。

◆ツリー（二枚の紙に切り込みを入れ、片方を折り曲げる方法）

二枚のツリーの型紙の裏と表の両面に色を塗ります。切りとってそれぞれ切り目を入れます。短い切り目の方は下の部分の折れ線に沿って左右が対象になるように折り曲げます。二枚を組み合わせ、長い切り目を入れた方が台紙の折り目に

垂直に立つように、糊しろを左右に分けて糊つけします。短い方の切り目を入れた方は糊しろを左右に分けて糊つけします。その時四つの糊しろが台紙の上で円になるように貼りつけます。これが一番難しいようです。

◆「くま」（一枚の紙を放射状に折り目をつける方法）

型紙に色を塗り、目、鼻、口を描き込みます。切りとって点線に沿って折り目をつけます。おへそのところを中心にして山折りと谷折りのしるしに注意して折ります。腰から下の部分を台紙に糊つけすると上半身が飛び出ます。

学生たちは、公開講座の前に同じ型紙を使って飛び出す仕組みを研究しました。それをもとにしてひとひねり工夫を加え、ユニークな飛び出す絵本を作り出しました。それをいくつか紹介します。



一



『おばけの日』(表紙)

◆ 『おばけの日』

ハロウィンの祭をテーマに選んでいます。

家族がそれぞれ工夫をこらして「おばけ」になったおもしろい仕掛けをしています。

一. 大きなM型に折った紙にこうもりの羽を左右につけます。

その上に小さなM型に折った紙を二段に重ね、顔の部分を谷折りにして糊づけしています。



三



二

二、傘のかたちの紙を六枚用意し、谷折りにして貼り合わせています。
三枚目に大きな一つ目を描きます。

三、幅三センチ長さ三十センチの紙を五角形に折ります。
底辺のところを谷折りにして棺おけのかたち糊づけします。四ヶ所に糊しろの紙をつけ足して台紙に貼りつけます。ドラキュラは谷折りにした紙で棺おけの底辺の近くに糊づけします。



五



四

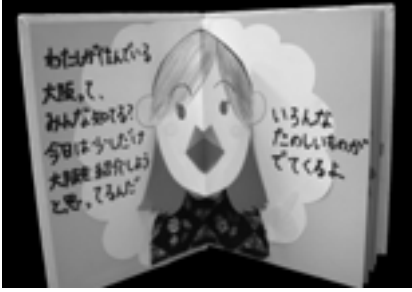
四．ろくろ首は、紙を渦巻きのように切ります。

渦の中心の部分は胴体に糊づけします。渦の外側の端に顔を作って片方のペー
ジに糊づけします（蛇の型紙から発展）。

五．山折りにした紙の鼻と口の部分に切り目を入れます。

鼻の下を押し込んで谷折りにします。先に頭のかたちを決めて耳の上半分まで
切ります。

つぎにあごから耳の下半分まで切ります。耳のうしろで糊づけします。



一



『大阪ってどんどこ？』(表紙)

◆ 『大阪ってどんどこ？』

大阪に住んでいる学生は、道頓堀付近で目につくものを紹介する仕掛け絵本を作りました。

一、顔の型紙をもとにして自画像が飛び出すようにしています。

前ページの顔とちがうのは、耳の後ろで糊づけするのでなく、頭と胴体のまわりを切り捨てないで、花びらのようにして糊づけの部分をひろくしています。



三



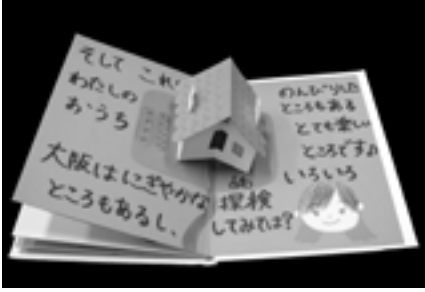
二

二. 中には二枚の紙を重ねて足と胴体を切りとります。

一方の紙の胴体は上半分まで切り込みを入れ、もう一方は胴体の下半分に切り込みを入れます。その後、二枚を差し込んで組み合わせ、胴体の下で糊づけをします（蝶の型紙から発展）。

三. 帽子の部分はページを開くと飛び出しますが、閉じるとはみ出さないようにしています。

これは帽子の真ん中の部分を放射状に折り目をつけ、谷折りと山折りを交互にしているからです。



五



四

四. 通天閣は二枚の紙を組み合わせています。ツリーの型紙を変形して鉄塔と展望台の部分工夫しています。

五. 家の壁の部分は箱を作るやり方です。五角形の壁のところを谷折りにするとページを閉じた時に畳むことができます。